

各 位

会 社 名 平和紙業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 清家 義雄
 (コード 9929 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役管理統括本部長 高木 修
 (Tel 03-3206-8501)

連結業績予想の修正及び剰余金の配当（中間配当無配）並びに 期末配当予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び期末配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、2020年11月12日開催の取締役会において、同様に未定としておりました2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について、下記のとおり無配とさせていただくことを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

●連結業績予想の修正について

1 2021年3月期の連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想(A)	—	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想(B)	14,800	56	38	0	0.00
増 減 額(B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	18,387	191	249	154	16.03

(注) 当期より表示方法の変更を行っており、前期実績はこれを反映させた組替え後の数値を記載しております。

2 連結業績予想修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから、未定としておりました。

今後の見通しの前提といたしまして、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等は依然として不透明な状況にあり、経済活動が段階的に再開され始めてはいるものの、本格的な回復には至らず、業績に与える影響は継続するものと想定し、現時点で入手可能な情報や予測に基づき連結業績予想を算定しましたので公表いたします。

●剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

1 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月13日公表)	前期実績 (2019年12月中間配当)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	—	5円00銭
配当金の総額	—	—	48百万円
効力発生日	—	—	2019年12月3日
配当資源	—	—	利益剰余金

2 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月13日)	—	—	—
今回修正予想		5.00	5.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2020年3月期)	5.00	5.00	10.00

3 中間配当及び期末配当予想修正の理由

当社の利益配当に関する基本方針は、株主に対する利益還元を最重要課題の一つとして位置付けており、基本的には自己資本利益率の向上を図る中で、業績に基づく成果の配分を行うこととしております。

しかしながら、当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上する厳しい結果となりました。

つきましては、2021年3月期の中間配当は、当第2四半期累計期間の業績数値や今後の見通しを総合的に勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

なお、2021年3月期の期末配当につきましては、同様に未定としておりましたが、今回公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を踏まえ、期末配当予想を1株につき5円とさせていただきます。

※上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績予想及び期末配当は、本予想数値と異なる場合があります。

以 上